

## 令和5年度 学校関係者評価

### 【確かな学力の育成】

- 評価は適切になされている。特に ICT、タブレット等を使った学習を積極的に実施している点が評価できる。
- 今は、家族全員がスマホを保有し、SNS、検索、動画等活用しているので、時代に合わせた、学びの環境となっているだろう。
- 教育の現場をビデオ撮りしたものを今回見せていただき、最近の授業がひと昔前とはずいぶん変わっていることに改めて驚いた。ご指導される先生方のご苦労もよくわかり、感謝の気持ちでいっぱいである。
- 社会がいろいろな意味で昔と違い、どんどん変わってきている。その流れに乗り遅れないようにしながらも、そこで自己判断できる子になるよう、学校側の先生方にはご尽力いただいた。子どもたちの反応で、それがよく分かった。
- 友達同士で話し合い、自分の意見を相手に伝えること、相手の意見も聞き取り入れること、とても大切だと思う。これからもグループ学習を取り入れてほしい。
- 授業の理解力が児童より保護者の方が低いのは、「少しでも…」との高望みの表れかもしれない。この項目の児童の9割声が頼もしい。
- 家庭での読書率が児童・保護者共に低いのは、環境のせい。時間がとれないのか。毎日30分ずつでもいいから、親子で話し合っ習慣づける工夫がほしい。
- タブレットでの発表の楽しさ率が児童は高くあるものの D(そう思わない)の割合が一定数あることが気になる。今の児童は情報端末を操作することが楽しいのだろうと思っていたが、操作技術が不得手なのか、学習の習熟度が不安なのだろうか。教師の評価も予想より低く、原因が見えているのであれば、今後に期待したい。

### 【豊かな心育成】

- 友だちとのコミュにケーションに重点を置かれている点が評価できる。
- 社会問題となっているいじめ対策に工夫がなされている点が評価できる。
- そうじの時間だけでなく、たくさんの縦割り活動の時間があり、そこで学び合うことがたくさんあり、とてもよい。
- 大関っ子は、ややひかえめかもしれないが、明るくのびやかな印象である。そのような子に育ててくださっている先生方に感謝している。
- 人を思いやる気持ちをこれからも育ててほしい。
- 児童・教師共に、ほぼ全ての項目で評価が高くなっているが、保護者の評価が低いところがあり、保護者の努力も必要と思われる。
- 自己肯定感のやや低い児童が一定割合いるが、自信をもたせるよう、励まし誉めながらの指導がいいのだろうか。

### 【健康な体・自己管理能力の育成】

- 歯みがき、肥満、視力について指導ができていた点が評価できる。
- 毎年、養護教諭には子、どもたちの健康面での細やかなご指導、調査、実践などに大変力を入れてくださり、感謝している。
- 子どもたち自身が意識できるような取り組みも大事になってくるのだろう。
- 家庭での努力によることが多く、保護者も学校まかせでなく、親子共々よく話し合っ、努力していただきたい。一番大事な成長期なので、よろしく願いたい。
- 温暖化が加速してきている。児童一人一人の暑さ対策について指導してほしい。

### 【家庭・地域との連携を深める活動（きらきら田園大関の学校）】

- 大関コミュニティセンターと連携した地域活動を積極的に行っていて、高評価できる。
- 今年はコロナも落ち着き、創立150周年記念行事始め、もちつき、保護者会、運動会など、地域と連携したたくさんの行事を催していただき、学校側と保護者、地域との連携ができ、とてもよかった。
- 大関小は地域の方に大切にされている学校だと改めて感じた。これからも地域との交流を大切にしてほしい。
- 大関っ子は、コミセンとの共同事業（ゴミ拾いなど）など地域とのつながりが非常に強いと自負している。他者とのふれあいが少なく、自己中心的な思考になりがちな昨今だが、大関小のような地域を巻き込み、人にまみれる活動を継続すれば、健全な児童を育むことができると思う。
- 歴史ある大関地区。いつまでも「良きふるさと」と感じてもらえるよう、できることがあればこれからも協力させていただきます。